

対象案件	北広島市水道事業財政計画(案)の策定について
意見募集期間	平成 26 年 12 月 18 日(木)から平成 27 年 1 月 17 日(土)まで
担当部署(問合せ先)	水道部 業務課 電話 011-372-3311 内 873
意見提出件数	意見提出者数 1 人
	意見提出件数 2 件

提出のあった意見の概要	市の考え方 (案を修正したときは修正内容)
<p>1 計画案 の 3 策定の基本方針の (5) 及び の 1 収益的収支財政状況の見通しについて</p> <p>計画期間の 1 日平均配水量は 15,000 m³ を切っており、漁川系受水の予定水量 15,213 m³を下回っており、千歳川系を使用しなくても十分需要に対応できるものと考えられる。</p> <p>新たな千歳川系の受水単価は基本料金 126 円、使用料金 25 円であり、漁川系の基本料金 69 円、使用料金 7 円と比べると基本料金で約 2 倍、使用料金で約 3 倍となっている。</p> <p>受水料の高い千歳川系の受水は当面 0 にし、千歳川系への負担を 0 ないしは必要最低限の額にすべきでは。</p>	<p>1 計画案 の 3 策定の基本方針の (5) 及び の 1 収益的収支財政状況の見通しについて</p> <p>緩やかな給水人口の減少、節水意識の高まりや機器の普及などから、1 日平均配水量や使用水量も現状では減少傾向にあると財政計画に想定しています。</p> <p>千歳川系の新規水源からの受水につきましては、第 5 期拡張事業(平成 8 年)により、計画給水人口を 86,940 人、日最大給水量を 40,000 m³として実施してきたものですが、上述のとおり給水人口の減少などから平成 18 年 6 月に事業変更(再評価)を行ったものです。(詳細は財政計画(案)資料 1 をご覧ください。)</p> <p>昨年 9 月 11 日未明に発生しました大雨では、漁川浄水場の原水濁度の上昇により、一時、石狩東部広域水道企業団からの送水量が制限され、近隣市では断水を余儀なくされ、当市でも同様の危機が生じたところでした。</p> <p>現状、漁川系の水量で賄える状況ではありますが、原水や送水管などに事故があっ</p>

	<p>た場合には送水制限や送水停止が考えられ、市民へ安全で安心した水道水を供給するためには2つの系統による水道水の確保が危機管理上も必要と考えています。</p> <p>また、受水量につきましては、これらの災害対応や将来のまちづくりを鑑み、必要な水量を確保したところです。</p> <p>基本料金や使用料金の設定につきましては、水道水の供給者である石狩東部広域水道企業団をはじめ、当該水源から受水する近隣事業体で構成された料金検討会議で供給コストの低減などについて検討し、石狩東部広域水道企業団議会の議決結果による単価設定となっておりますのでご理解をお願いいたします。</p>
<p>2 計画案 の3 今後の対応について</p> <p>今後の対応策については、「水道施設の管理を含めた包括的な事務事業の委託化」としているが、他市の例を見ると必ずしも経費削減に結びついているわけではなく、かえって委託料の増額、料金の値上げとなってしまうことも懸念される。</p> <p>経費節減は、上記の受水計画や、設備計画等について無駄や過大な見積もりがないか精査することも合わせて実施すべきであり、民営化については適切かどうかを慎重に判断すべきでは。</p>	<p>2 計画案 の3 今後の対応について</p> <p>ご意見のとおり、事務事業の委託化（民営化等）については、経費削減効果や市民サービスの向上など、多角的な視点から検討を行い慎重に検討してまいります。</p> <p>また、水道事業としての経費削減については、ご指摘を踏まえ日々経営努力を行い、効率的な水道事業経営に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">今後の予定 平成 27 年 3 月 計画策定</p>